

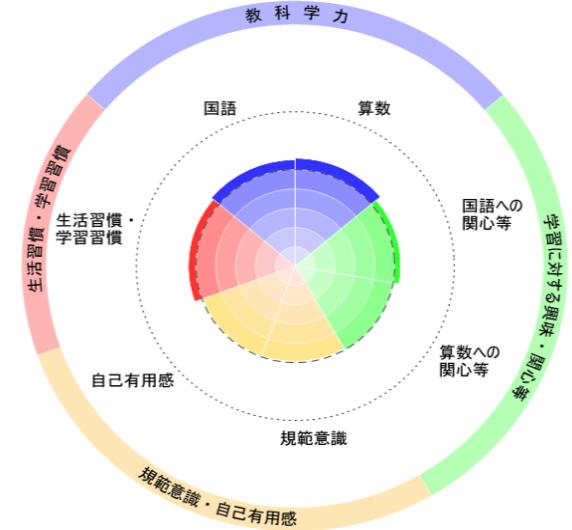
(1)学力調査結果から見られた傾向

成果と課題(○:成果、●:課題)		対策
国語	○具体的なイメージをもちやすい文章は、内容を正確に読み取ったり、分かったことを書いたりすることができる。 ○読み取った内容を条件に合わせて、書くことができる。	・資料を読み取り、分かったことをまとめる力をつけるために、読み取った様々な資料からの情報を自分なりの考えを交えて表現する活動を取り入れる。 ・学校図書館と連携し、資料を活用した授業を展開することで、文章を要約する力がつくようにする。
	●読み取った内容を要約し、大切なことを落とさずに限られた字数で書くことに課題が見られる。 ●漢字を文章の中で文意に沿って適切に用いることに課題が見られる。	・様々な書く活動の中で適切な漢字を意図的に使う機会を多くとることで、文意に沿った漢字を選んで書く力がつくようとする。
算数	○減法の計算の仕方についての記述を参考にして、除法の計算の仕方を考えることができる。 ○文意を正確に把握し、問題を解く力がついている。	・各教科でペアやグループ活動などを通じて話し合う活動を意図的に設定し、児童が自分の考えを聞き手に分かりやすく、最後まで説明する力をつけられるようにする。
	●複数の資料から情報を正確に読み取り、判断したことを自分の言葉で表現することに課題が見られる。 ●「何倍か」を求める際、もとにする量とくらべる量を判断することに課題がある。	・基礎基本の習熟を図るために、既習事項を用いて問題解決していく学習活動を繰り返し行う。

(2)生活意識調査から見られた傾向

成果と課題(○:成果、●:課題)		対策
○物事を最後までやり遂げ、充実感を味わっている児童が多い。 ○家庭学習や読書の習慣が身についている児童が多い。 ●地域や社会の出来事に対して関心が薄い傾向がみられる。 ●自分の考えを人に伝わるように工夫して話すことに苦手意識を感じている児童が多い。		<ul style="list-style-type: none"> ・社会での出来事に关心が向くように、スピーチをしたり、自主学習で取り組んだりする。 ・日々の授業において、話型を示したり、話す内容を決めたりして、全員が話す機会を意図的に設ける。

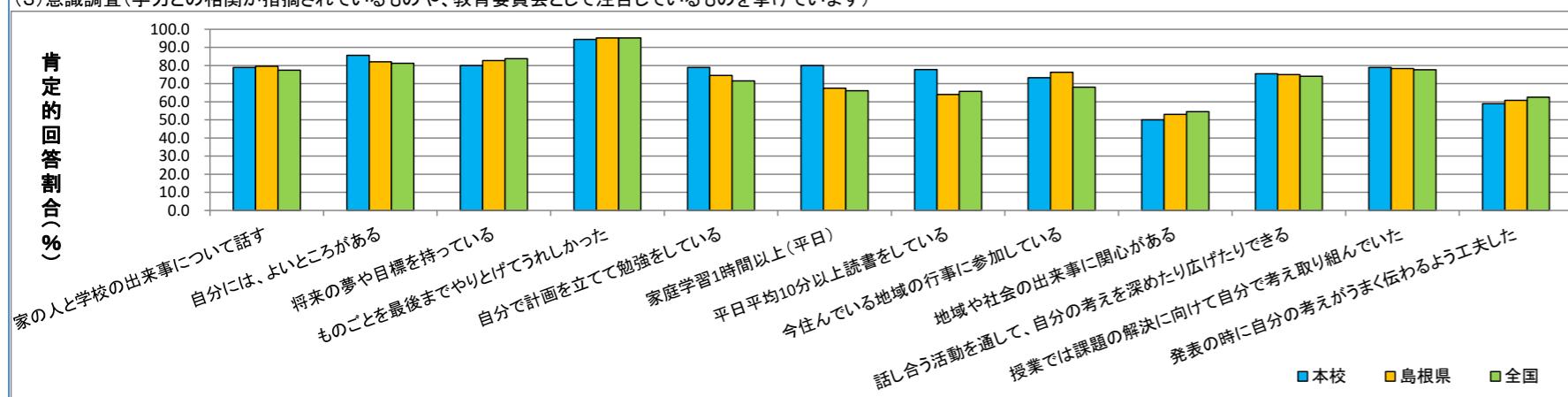
(4)学力調査及び生活意識調査から見られた傾向(破線は全国平均)



(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

- ・「書き取り会・計算会」の毎月全学年実施により、基礎学力の向上を図る。
- ・授業スタイル(学習課題・めあて→まとめ→振り返り)の徹底を図る。

(3)意識調査(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています)



【参考】

○平均正答率

	本校	松江市	島根県	全国
国語	68	63	62	63.8
算数	70	66	65	66.6

受検者数 90 人
 ※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示して下さい。